



歯科口腔・顎顔面外科、南7階病棟 急変時シミュレーション

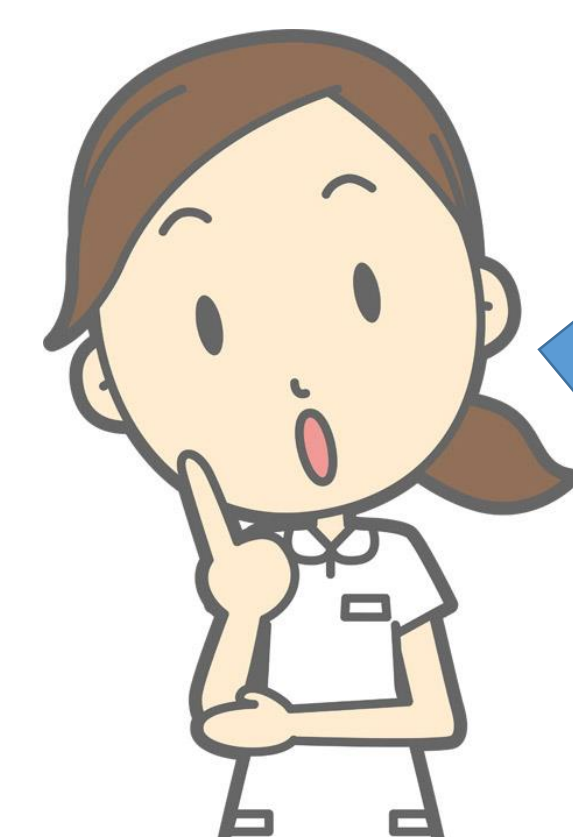


歯科口腔・顎顔面外科、南7階病棟の特徴は・・・

- ・ 1週間に1例、体に大きな負担がかかる長時間の手術が行われる（昨年度33例）
- ・ 口腔内の手術で気管切開している患者さんが多く、気道のリスクがある
- ・ 昨年度、院内緊急コール 7件、群馬大学RRS*相談 10件以上

*Rapid Response System : 多くの「急変」には前兆があるという点に着目した院内対応システム

医師、看護師の急変対応の質をさらに向上させるため、医療の質・安全管理部、ICUの協力のもと急変時のシミュレーション研修を行いました



患者さんの安全を守るためにはどうしたらいいの？

看護師対象 急変に対する事前勉強会！

- ・ 集中ケア認定看護師の協力のもと、病棟のICLS*¹インストラクター、院内KIDUKI*²ワーキングメンバーを中心に、事前勉強会を行いました

* 1 ICLS : 日本救急医学会の蘇生トレーニングコース

* 2 KIDUKI : 日本医療教授システム学会 患者急変対応コース

急変時看護記録	
5時30分頃 SpO ₂ 85%まで	胸骨圧迫と人工呼吸 (CPR)
5時38分 HR100台、SpO ₂ 85%	心電図波形チェック
4444コール 心臓停止	
5時44分 ICU到着 (ICU記録ではAsystole)	
5時46分 アドレナリン1mg	心電図波形チェック
5時48分 リズムチェック PA	CPRと薬物投与 アドレナリン1mg
5時50分 アドレナリン1mg	
5時52分 HR65まで上昇	心拍再開までの流れや、急変時に飛び交う用語、使用することの多い薬剤などを学びました



心拍再開までの流れや、急変時に飛び交う用語、使用することの多い薬剤などを学びました

実際の病室を使用しての 急変時シミュレーション！

- ・ 深夜2時頃の急変対応を想定して、当直医師1名、夜勤看護師4名(うち2名は仮眠中)を1チームとして、4チームに分かれて行いました
- ・ 口腔外科手術後、気管カニューレが閉塞して心肺停止となった患者さんの救命場面を想定しました



看護師が心肺停止の患者さんを発見



スタッフの協力と救急カートとAEDを要請



AEDで心停止の波形を診断



チームで心肺蘇生とカニューレ交換を行い蘇生成功！



医師と看護師で心停止の原因を検索し、カニューレ閉塞を発見

ビデオなどの資機材を活用！

- ・ 医療の質・安全管理部と協力して、ビデオ撮影を行いながら、別室でシミュレーションの様子を客観的にモニターしました
- ・ シミュレーションの様子をDVDにしてもらい、いつでも振り返ることが出来ます



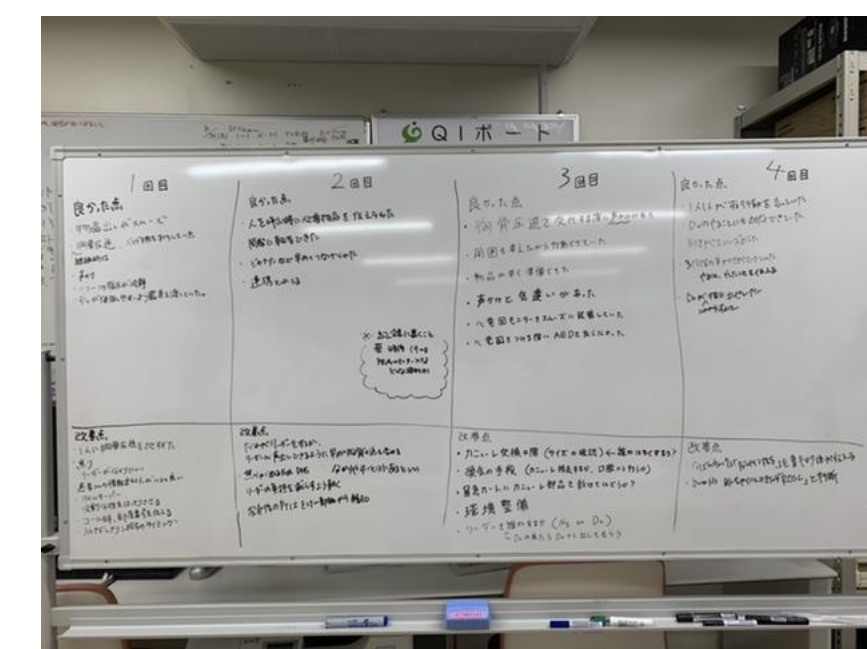
密にならないように気をつけました

参加者全員で振り返り！

- ・ 反省点だけでなく、良かった点や今後どう活かしていくか、意見を出し合いました



1チームごとに振り返り



次のチームに向けて良かった点、改善点を共有

医師・看護師共に、たくさんのスタッフが参加し、振り返りでは特に研修医や若手看護師から積極的な意見が出ていました

スタッフ全員が、緊急事態に安全に対応できるよう今後も定期的に関催していきたいと考えています

